

令和7年 第1回

羅臼町教育委員会議事録

令和7年第1回羅臼町教育委員会

1 日 時 令和7年1月29日(水) 13時30分～15時10分

2 場 所 羅臼町役場 3階 第5・6会議室

3 出席者

教育長	石 崎 佳 典
委 員	葛 西 良 浩
委 員	芦 崎 拓 也
委 員	佐々木 美 穂
委 員	小 林 真裕子
教育指導主幹	横 澤 英 三
学務課長	八 幡 雅 人
社会教育課長	長 岡 紀 文
総務管理係長	櫻 庭 千 尋

4 欠席者

なし

5 傍聴者

なし

6 議 題

議案 第1号	令和6年度羅臼町児童・生徒表彰について
議案 第2号	令和7年度就学及び教育的支援の答申について
議案 第3号	給食費の無償化について
議案 第4号	令和6年度準要保護児童・生徒の認定について
議案 第5号	羅臼町学校給食実施規則の一部改正について
報告 第1号	令和6年度一般会計補正予算について
報告 第2号	諸会議・諸行事について

7 その他

1. 教育指導主幹通信について

【開 会】

○石崎教育長

令和7年第1回教育委員会を開催いたします。

1月16日から3学期が始まり、冬休み期間中に大きな事故等もなく、子ども達は元気に登校しています。新たな年を迎えました。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

本日は委員の皆さん全員出席ですので、会議は成立とさせていただきます。議事録署名委員の指名ですが、本日の署名委員は芦崎委員と佐々木委員にお願いします。

議事の確認をさせていただきます。本日の議題は協議事項として、議案第1号「令和6年度羅臼町児童・生徒表彰について」、議案第2号「令和7年度就学及び教育的支援の答申について」、議案第3号「給食費の無償化について」の3件を事前にご案内をしておりましたが、追加議案として議案第4号「令和6年度準要保護児童・生徒の認定について」、議案第5号「羅臼町学校給食実施規則の一部改正について」を加え5件の協議事項とさせていただきます。報告事項として、報告第1号「令和6年度一般会計補正予算について」、報告第2号「諸会議・諸行事について」の2件となっております。

議事の非公開の確認をさせていただきます。議案第1号は、羅臼町教育委員会会議規則第8条第1項7号に規定する、個人及び団体の顕彰に関する事項であります。また、議案第2号及び第4号は、同規則第8条第1項各号には該当しませんが、個人情報保護の観点から、議案第1号、議案第2号及び議案第4号は公開しないことにしたいと思います。よろしいでしょうか。

○全委員

異議なし。

○石崎教育長

議案第1号、議案第2号及び議案第4号は公開しないことにいたします。

議事に入る前に、私から報告をさせていただきます。1点目は、20歳のつどいについてです。1月7日に春松小学校を会場に20歳のつどいを行いました。小林委員にご出席していただきました。ありがとうございました。55名の対象者のうち42名の出席があり出席率が高かったと思っています。その中で海外から羅臼町に就労している2名の方の出席がありました。この2名は漁業に就労しており雇用主の方が声を掛けてくれたことにより出席してくれたようです。男性2名でしたがスーツを着て、金屏風の前で写真を撮っていました。この2名の国では20歳を祝うイベントは無いそうです。日本の風習を大変喜んでくれたようでした。記念講演での講師のお話の内容も理解しておられたようで、とても良かったと思えました。根室市の20歳のつどいでは、外国人の対象者

に地元の方々が着付けをする等の取り組みをしているということですので、来年以降は社会教育課が中心となり、羅臼町で就労している海外の方々への呼びかけをしていきたいと思っています。

1月13日から16日まで、徳之島まで出張してきました。小学校は各校から1名ずつ、中学生1名、高校生1名、引率と職員を含め10名で行ってまいりました。全校児童が9名の徳之島町立山小学校で羅臼町の小学生が知床学の発表をしてきたところです。また、羅臼町の中学生と高校生が、東天城中学校の校長と教頭に知床学の発表をしました。子ども達にとって、良い経験になりましたし、良い発表ができたと思っています。私自身も徳之島は初めてでした。闘牛の文化があり、北海道には無い文化に触れることができました。闘牛が生活の中心とも思えるような島民の関わりと情熱を感じました。様々な地域に行くことで見分を広めることは重要だと改めて感じたところです。

1月17日に全園、全校、高校の始業式が行われました。その中で北海道教育委員会から公式に発表されていることですが、令和7年度の羅臼高校の入学予定者数は17名ということです。

1月24日に臨時議会が開催され、各種補正予算が可決されています。

行政報告については以上でございます。

それでは議事に入ります。

【議 事】

●議案 第1号 令和6年度羅臼町児童・生徒表彰について

○石崎教育長

議案第1号「令和6年度羅臼町児童・生徒表彰について」担当から説明をお願いします。

非 公 開

○石崎教育長

事前に社会教育委員の会でも議題として取り上げ本日の協議事項としています。
議案第1号「羅臼町児童・生徒表彰について」は可決とさせていただきます。

●議案 第2号 令和7年度就学及び教育的支援の答申について

○石崎教育長

議案第2号「令和7年度就学及び教育的支援の答申について」担当から説明をお願いします。

非 公 開

○石崎教育長

議案第2号「令和7年度就学及び教育的支援の答申について」は可決とさせていただきます。

●議案 第3号 給食費の無償化について

○石崎教育長

議案第3号「給食費の無償化について」担当から説明をお願いします。

○学務課長

議案の4ページをお願いいたします。議案第3号「給食費の無償化について」意見を求めるものであります。現在、給食費の無償化は、国・北海道で無償化の動きが進んでいる中で、羅臼町においては令和7年4月から児童生徒の給食費を無償化にする方向で進めており、予算編成を行っているところであります。保護者の経済的な負担軽減、子育て支援の一環のため、羅臼町単独事業として給食費の無償化を実施したいと考えております。影響額につきましては、2,100万円程度の歳入減となりますが、保護者の経済的負担の軽減、子育て支援の一環のため、町の施策として令和7年度に打ち出していきたいと考えておりますので、ご意見をいただきたいと思っております。

○石崎教育長

議案第3号「給食費の無償化について」説明がありました。ご意見ご質問等がありましたらよろしくお願い致します。

説明のとおり、令和7年4月1日から給食費を無償化にする方向で準備を進めています。管内の状況ですが、中標津町以外が給食費の無償化に取り組んでいます。令和5年度の数字ですが、全国的には無償化は3割程度ということです。これは、令和5年度の実績ですので、無償化の割合が伸びているものと考えられます。そのような現状の中で羅臼町も無償化に取り組んでいきたいと思っております。賛成・反対というご意見もあると思っております。委員の皆さんのご意見をお聞かせください。

葛西委員お願いいたします。

○葛西委員

以前、無償化の話題になった時に、小学校が統合するタイミングに合わせてはどうかと考えていましたが、予算の面からも問題が無ければ令和7年度からが良いと思います。

○石崎教育長

芦崎委員お願いいたします。

○芦崎委員

無償化については、国・北海道が進めていることですので、町として取り組むことに問題は無いと思います。以前の教育委員会の中で、他の自治体で無償化を行ったところ、質が落ちたという事例があったと聞いています。無償化になった場合においても現在徴収している給食費と同程度の予算でなければ、質が落ちてしまうのではないかとという懸念があります。子ども達にとって食事は非常に大切なことだと思っていますので、必要な予算を確保していただければと思います。

○石崎教育長

物価高騰の部分で、どの程度の差額が出ていますか。

○学務課長

コロナの時期から物価高騰が続いています。現在は徴収した給食費に対し、原材料費が200万円から300万円不足しています。しっかりと給食が提供できるよう不足分については町が負担しているところです。芦崎委員が懸念されている、給食の質や量を落とすというようなことはできませんので、一般会計予算の中で対応しています。無償化により子ども達の分の歳入は減ることになりますが、しっかりと予算を確保し取り組んでいきたいと考えています。

○石崎教育長

物価高騰により40%の原材料の値上げという話も聞いています。芦崎委員がおっしゃられるように、質と量を保障しなければなりません。町財政の厳しさから、質と量が落ち子ども達に影響が出ることがないように、教育委員会としてしっかりと保障し守っていきたいと思っています。今後の総合教育会議でも話題にしながら取り組んでいきたいと思っています。

○芦崎委員

無償化により、教育委員会内の他の予算が削減されることはありますか。

○学務課長

そのようなことはありません。

○芦崎委員

町の税収等を考えたときに、2,000万円から3,000万円を継続して確保していくことは難しい部分が出てくると思います。教育委員会内の他の予算が縮小されてしまうのであれば慎重に考えなければならないと思います。

○学務課長

教育委員会内の予算が削減されているわけではありません。町全体の予算の中で調整されています。

○芦崎委員

限られた予算だと思いますので、教育委員会の予算が増額した代わりに、例えば福祉等の予算が削られているのではないかと懸念しています。

○石崎教育長

無償化にするということは、未来永劫にわたり無償化ということですが、子ども達の人数が減っていきますので、予算が増えていくことは基本的には無いと思っています。無償化は町長の大きな決断です。

佐々木委員お願いいたします。

○佐々木委員

無償化が未来永劫ということをお聞きして安心しました。財政難により再度給食費を徴収することがあるのではないかと不安がありました。国の動きに合わせて北海道が無償化の取り組みを検討していると思いますが、仮に北海道が着手しないとなった場合でも、羅臼町単独事業として取り組んでいくことを町長から確約をいただくと安心できます。

○石崎教育長

町長との懇談の中では、国や北海道の動きも重要だが、それとは別に町独自にしっかりと取り組んでいくということを町長と私の二人で確認をしています。

小林委員お願いいたします。

○小林委員

子育て世代の保護者からは大変喜ばれると思います。無償化に取り組むからには継続していただきたいと思います。再度給食費を徴収することになれば保護者の不信感が大きくなるのが考えられますので、慎重に進めていただければと思います。

○石崎教育長

北海道通信という教育新聞に載っていたことですが、青森県は全ての公立小中学校が無償化になっているそうです。また、東京 23 区も全て無償化ということですので大きな流れになっていると思います。教育委員の皆さんから給食費の無償化について反対意見が無いということを確認できましたので、しっかりと取り組んでいきたいと思いま

す。この後、給食センター運営委員会が開催されますので、その中でもご理解をいただきながら進めていきたいと思っています。

○小林委員

高校への給食提供は考えられないでしょうか。

○石崎教育長

以前の高校生の日議会で、高校にも給食を提供していただきたいという意見がありました。私が教育長になる前にも、そのような話がありました。高校に伺いお話をしてきましたが高校までの坂が課題となりました。給食の配送車が高校まで行けないということです。坂の下での受け渡しということも検討しましたが、毎日のことになりますので現実的ではなく、物理的に難しいということになりました。万が一、坂で事故が発生した場合、小中学校に給食が提供できなくなり、本来の業務に支障をきたすということで断念しています。

○学務課長

物価高騰に関しましては、今年度の原材料費が不足する見込みですので、来月の教育委員会で補正予算の上程をさせていただく予定となっております。3月の定例会で歳出予算の補正をしたいと思っています。

○石崎教育長

議案第3号「給食費の無償化について」は可決とさせていただきます。

●議案 第4号 令和6年度準要保護児童・生徒の認定について

○石崎教育長

議案第4号「令和6年度準要保護児童・生徒の認定について」担当から説明をお願いします。

非 公 開

○石崎教育長

議案第4号「令和6年度準要保護児童・生徒の認定について」は可決とさせていただきます。

●議案 第 5 号 羅臼町学校給食実施規則の一部改正について

○石崎教育長

議案第 5 号「羅臼町学校給食実施規則の一部改正について」担当から説明をお願いします。

○学務課長

追加議案の 3 ページをお願いいたします。議案第 5 号「羅臼町学校給食実施規則の一部改正について」です。羅臼町学校給食実施規則の一部を別紙のとおり改正したいので、意見を求めるものであります。4 ページをお願いします。羅臼町学校給食実施規則の一部を次のとおり改正する。改正内容ですが、令和 7 年 4 月からの学校給食の無償化に伴い、給食費免除の規定を追加するものであります。改正条文は、第 8 条第 1 項中「第 5 条第 3 項」を「第 6 条第 3 項」改める。これはこれまでの条項記載に誤りがありましたので修正をするものであります。第 10 条を第 11 条とし、第 9 条の次に次の 1 条を加える。第 10 条は給食費の免除であります。学校給食法第 11 条第 2 項の規定にかかわらず、羅臼町内の幼稚園、小学校及び中学校に在籍する児童生徒にかかる給食費を免除するものであります。附則としてこの規則は令和 7 年 4 月 1 日から施行するものであります。

○石崎教育長

議案第 5 号「羅臼町学校給食実施規則の一部改正について」説明がありました。ご意見ご質問がありましたらお願いいたします。先ほど給食費の無償化についてご意見をいただいております。それに伴う規則の一部改正ですのでよろしいでしょうか。

○芦崎委員

現在の給食費について確認させてください。納付の状況や未納の有無をお聞かせください。

○学務課長

近年の滞納はありませんが、過去の滞納が 2 件あります。毎月分納という形で納付されており少しずつではありますが滞納額が減ってきています。今後も未納者に連絡をとりながら完納に向けて徴収をしていきたいと思っています。

○石崎教育長

滞納になっているのは前納制になる前の給食費ですので10年以上前のものになります。2件のうち1件は毎月の納付がありますが、残りの1件は難しい状況が続いています。前納制を導入してからの滞納はありません。令和6年度に滞納が発生しないよう取り組み、令和7年度からの無償化をスタートさせたいと思っています。

○芦崎委員

無償化になるにあたり、滞納が無い状態でスタートを切ることが望ましいと思います。

○石崎教育長

以前からの未納者と連絡を取り、納付を約束し完納に向け徴収していきたいと思っています。また、令和7年度からの無償化が見えたことにより、令和6年度の給食費を納付しないという保護者が出てこないようにしっかりと徴収したいと思います。

○芦崎委員

不公平感が出ないように対応していただきたいと思います。

○佐々木委員

町の補助金も滞納があれば受けられないという条件があると思います。

○芦崎委員

行政サービスとして、滞納がある家庭が無償化にはならないと思います。

○石崎教育長

現在、通学している児童生徒の保護者の未納はありません。前納制になる以前の滞納は別に考えたいと思います。

○芦崎委員

給食センターの耐用年数をお聞かせください。

○学務課長

耐用年数は60年、現在32年が経過しています。老朽化した調理設備等は更新しています。

○芦崎委員

無償化に加え、今後は施設・設備の更新にも大きな予算が必要になると思います。

○学務課長

大きな設備更新は継続して実施していますので、残り数年で大きな設備更新を終える予定となっています。今後は給食センターの在り方も課題になっていくと思います。

○芦崎委員

これまでは給食費を徴収し予算を組んでいましたが、今後は無償化により施設改修・設備更新の予算確保が難しくなるのではないのでしょうか。

○石崎教育長

給食費は原材料費に充てるという考えであり、改修・更新は全体の予算の中から充てられています。

○総務管理係長

建物自体の耐用年数は60年ですので20年以上使用することが可能ですが、老朽化した調理器具や配管等を更新しています。給食提供を停止することはできませんので、更新作業は夏休みや冬休みに限定されるため全面改修は難しく、老朽化した部分から順に更新しているのが現状です。

○石崎教育長

設備については、既存の設備を更新しています。建物は耐用年数の半分を超えていますので先が見え始めています。建物の耐用年数も踏まえた給食センターの在り方の検討が必要になってくると思います。留萌市の給食センターが民間に売却され運営されると聞いています。根室市ではコープさっぽろに委託しスクールランチという形を検討しているそうです。給食の提供方法も様々な形となってきています。羅臼町の実態としては調理員が安定的に確保できないということが課題となっています。給食センターの件については今後も委員の皆さんにご相談しながら考えていきたいと思っています。

他にご意見ご質問はありますでしょうか。

○全委員

意見、質問等は特になし。

○石崎教育長

議案第5号「羅臼町学校給食実施規則の一部改正について」は可決とさせていただきます。

●報告 第1号 令和6年度一般会計補正予算について

○石崎教育長

報告第1号「令和6年度一般会計補正予算について」担当から説明をお願いします。

○学務課長

議案の5ページをお願い致します。報告第1号「令和6年度一般会計補正予算について」であります。本来であれば教育委員会で審議をいただき、議会に上程するところですが、今般の補正予算については、国の人事院勧告に伴う給与改定の部分であり、国会成立交付日が年末の12月25日であることと、町の第1回臨時議会が1月24日に行われたため、それまでの議案調整等を含め召集時間が限られていたことにより、議案のとおり臨時議会に上程させていただいたところです。補正の内容について報告をさせていただきますので、承認をいただければと思います。

歳出です。8款：教育費、4項：幼稚園費、1目：幼稚園管理費、幼稚園の管理に要する経費、1節：報酬に329千円、3節：職員手当等に173千円、計502千円です。8款：教育費、5項：社会教育費、4目：文化財保護調査費、郷土資料館に要する経費、1節：報酬に516千円、3節：職員手当等に130千円、計646千円です。8款：教育費、6項：保健体育費、6目：給食センター管理費、給食センター管理運営に要する経費、1節：報酬に1,946千円です。補正理由は、令和6年人事院勧告により、会計年度任用職員の報酬及び職員手当に不足が生じるため追加の補正を行ったものです。令和6年人事院勧告の概要は、民間給与改定との比較、平均改定率3.5%、ボーナスで0.10月分それぞれ増の勧告となっており、実施時期は令和6年4月1日まで遡っての支給になりますので、職員への報酬及び手当に不足が生じたためであります。

○石崎教育長

報告第1号「令和6年度一般会計補正予算について」説明がありました。ご意見ご質問がありましたらお願い致します。説明があったとおり本来は協議事項になりますが、臨時議会ということと、人事院勧告による会計年度任用職員の報酬と職員手当等の不足に関わる補正でしたので報告事項とさせていただきました。

○全委員

意見、質問等は特になし。

○石崎教育長

報告第1号「令和6年度一般会計補正予算について」は承認とさせていただきます。

●報告 第2号 諸会議・諸行事について

○石崎教育長

報告第2号「諸会議・諸行事について」担当から説明をお願いします。

○学務課長

議案の6ページをお願いいたします。報告第2号「諸会議・諸行事について」報告をさせていただきます。議案の7ページをお願いします。2月から3月までの主な予定を記載しています。学務課所管事項です。2月7日北方領土の日記念事業として展望塔において朝6:30から記念事業が行われますのでお知らせいたします。2月10日に管内教育長会議が開催されます。2月12日に、羅臼町・北本市・宮古島市とのおむすび交流회가春松小学校を会場にWEBで行われます。2月14日に第2回全道生徒指導連絡協議会が開催されます。2月17日に第2回学校給食運営委員会を開催し無償化についての協議をさせていただき予定となっています。次回の教育委員会は2月26日を予定しています。3月5日から13日まで令和7年第1回定例議会が開催されます。その期間内の3月10日から12日に令和7年度の予算特別委員会が開催されます。3月の教育委員会は、3月26日を予定しています。学務課の所管事項は以上です。

○社会教育課長

社会教育課、図書館、郷土資料館所管事項についてご説明させていただきます。社会教育課所管事項です。1月31日から2月4日の期間で、らうすぼを会場に二科会作品展を開催します。2月12日及び3月12日にかかわりあそびPGをありんこで実施します。2月13日にこまぐさ学級閉級式をらうすぼで行います。2月22日に知床Kids第8弾として、オジロ・オオワシ観察会及び閉級式を行います。図書館所管事項は、2月15日にちいさい子のおはなし会を図書館で実施します。議案の8ページをお願いします。郷土資料館所管事項です。2月11日に郷土資料館講座としてアイヌ文様の刺しゅう体験を行います。2月23日にオジロ・オオワシ一斉調査を実施します。2月24日には郷土資料館講座としてアイヌ文化のチャシ跡巡りを行います。以上でございます。

○石崎教育長

報告第2号「諸会議・諸行事について」説明ありました。ご意見や質問等ありましたらお願いいたします。

○全委員

意見、質問等は特になし。

○石崎教育長

報告第2号「諸会議・諸行事について」は承認とさせていただきます。以上で議事は終了となります。

【その他】

●教育指導主幹通信について

○石崎教育長

その他として、教育指導主幹通信について説明をお願いします。

○横澤主幹

今年もよろしくお願ひいたします。2月12日に羅臼町・北本市・宮古島市おむすび交流会を行います。以前から春松小学校は北本市の小学校とWEBで交流し、地域や学校の紹介をしているところです。今回は宮古島を交えまして、北本市の米、羅臼町の昆布と鮭フレーク、宮古島の塩をそれぞれ送り合い、おにぎりを作り食べて感想を発表するという内容です。2月12日の取り組みは前段階としてお互いの特産物を知るという交流を行います。日本の北から南までの地域で交流するという企画です。

先ほど教育長からも徳之島訪問の報告がありましたが私からもご報告させていただきます。最初に驚いたことが、徳之島空港に降りた時に煙を感じ何かと思いましたが、サトウキビ畑を焼いていました。数年に一度畑を焼き新たな苗を植えていくという作業ということです。小学校での交流は、山小学校の児童がソフトバンクのPepperくんを使っただけの発表を行いました。全校児童が9名の小学校ですが、子ども達がプログラムをしたということです。羅臼町でもプログラム教育のため導入できないかと調べているところです。経費は年間で約50万円ということですので一貫教としての導入も含めて検討しています。小学校での交流の際にサトウキビが配られました。お互いの発表が終わった後に質問コーナーがあり、羅臼町の小学生からサトウキビの食べ方の質問がありました。大変甘いサトウキビを試食させていただきました。もう一つ驚いたことがバナナです。栽培したものではなく、地域周辺に生えているバナナをお土産としていただきました。3段の房になっており小学生では持てないほどの大きさです。その段階では緑色でしたが羅臼町に戻り1週間程度で黄色になりましたので食べてみたところ、周辺に生えているバナナとは思えないほど美味しくいただきました。羅臼町の子ども達も美味しくいただいたと聞いています。夜はナイトツアーに行かせていただき、アマミノクロウサギを観察させていただきました。夜は9度まで気温が下がり寒く感じましたが、2羽のアマミノクロウサギを見ることができました。大変良い経験になりました。

主幹通信をご覧いただきます。小学校の「チーム担任制」についてお話をさせていただきます。鹿児島県志布志市の伊崎田小学校（児童数66名）は本年度から、学級担任を固定せず、複数人で受け持つ「チーム担任制」に取り組んでいる学校です。この学校は1学年1学級の小規模校です。低学年、中学年、高学年ごとに教員がチームを組み、ベテランと若手を組み合わせた3から4人で構成しています。校長はこれまで、学級経営や

授業づくりに一人で悩む若手教員の姿を見てきたという。周りの教員が自分の仕事に加えて若手をサポートする体制に限界を感じていた。「勤務時間内に助言指導できる仕組みが必要」と考え、導入に踏み切ったということです。チーム制と同時に始めた一部の教科担任制は国語や算数が対象です。このモデルとなったのは兵庫県稲美町立加古小学校です。チーム担任制に取り組んだ目的は、学級崩壊から児童を守るためだった。教員が一人で学級を運営するため、悩みを抱え込みやすい。うまくいかなければ、新年度に担任を替えてリセットする。これでは根本的な解決にはならない。加古小学校で取り組んだのは2022から2023年度です。全学年1学級で、1週間ごとに担任が交代する。結果として、どの学級も非常に安定した。教員の経験などによって指導の質に差が生じがちだが、複数人が関わることで平均的な質を担保できるようになった。担任一人では見落としていた児童の長所や課題に気付くことができた。児童も複数の担任の中から、話しやすい先生に相談できるようになったということです。課題は推進する上での校長の覚悟です。校内外から質問や反対の声が寄せられた時に正しい道筋だと説明できるか。責任の所在をはっきりさせることも大切です。授業は実施した教員の、いじめや不登校などの問題が生じたらチーム全体の責任。そして最終的には校長が責任を負うことであるということです。

私も現職最後の年に小学校で教科担任制を導入したことがありました。6年生が3学級あり、それぞれの担任が、国語・算数・社会が得意であったため、その3教科に関わって教科担任制を導入しました。事前に保護者への説明が大前提です。導入し1ヵ月後と3ヵ月に子ども達にアンケート実施したところ、全員が教科担任制の方が良いという回答でした。教員の専門性もありますし、3学級ある学校だからこそ出来たことだと思っていますが、チーム担任制は学年で1学級でも可能ということに気がきましたので、町内の校長にもこの取り組みを紹介したところでした。

もう1点は、3・11の「釜石の奇跡」です。後ほどお目通し願います。私からは以上です。

○石崎教育長

徳之島への訪問も含め主幹通信についてご確認、ご質問等がありましたらお願いいたします。

○全委員

確認、質問等は特になし。

○石崎教育長

事務局から連絡報告等がありましたらお願いします。

○学務課長

現在の動きをお話しさせていただきます。町内の幼小中高、教育委員会で Google Workspace の共有を進めております。2月から試験運用を開始する予定となっております。その共有の中で、例えば中学校と高校の教員が情報共有をできるようになり、連携を深めていくことが期待できます。以前、羅臼高校の DX が新聞報道されましたので、今回の取り組みも掲載される可能性がありますのでお知らせさせていただきました。チャットやスケジュール管理、資料の共有が可能になります。

先ほどの行事予定の中でもご説明させていただきましたが、次回の教育委員会は2月26日午後1時30分からを予定していますのでよろしく願いいたします。

○石崎教育長

委員の皆さんから全体を通してのご意見、確認事項がありましたらお願いいたします。

○芦崎委員

幼稚園・小学校統合の進捗状況についてお聞かせください。

○学務課長

12月の定例議会において、小学校トイレ改修及び幼稚園部分の実施設計の予算が議決され指名業者を選定している段階です。指名業者が決まりましたら入札をして4月から工事と実施設計がそれぞれ始まります。校名・園名については3月10日まで役場・図書館・らうすばに回収BOXを設置のほかGoogle回答Formでも受け付けています。校歌・園歌の作詞作曲をどなたに依頼するかについては現在検討中です。

○横澤主幹

学校同士の状況ですが、先週の木曜日に両小学校の全教員が集まり今後についての相談をしたという報告を受けています。

○学務課長

両小学校ではPTAも集まり閉校に関わる協賛会についての協議が行われ、閉校式典等についての話し合いが行われています。

○芦崎委員

統合により、先生の人数は減りますか。

○横澤主幹

1校分の人数になります。両校が閉校ですので全員が異動対象になります。異動希望が尊重されますが、羅臼小学校の先生が多く、春松小学校の先生が少ないということにはならないと思いますので、半数ずつ程度になるよう調整になると思います。

○芦崎委員

新たな小学校のスタートになりますので、子ども達に影響が出ないよう、多くの先生が残っていただけたらと思います。

○横澤主幹

開校時に初任者が入ることは無いと思います。

○石崎教育長

羅臼中学校と春松中学校を廃校し知床未来中学校が開校した際に、春松中学校の先生の割合が多く、馴染むまで時間がかかった生徒もいたようです。子ども達は関わってくれていた先生が残ってくれる環境が安心できると思いますので、教育委員会として根室教育局にこのような学校にしたいという話をして、先生の配置を協議していきたいと思っています。

○芦崎委員

教育委員会として掲げる新たな小学校のテーマを設定しますか。

○学務課長

校訓については、学校に考えていただきます。

○石崎教育長

学校にも考えていただきますが、教育委員会としてのビジョンも持たなければなりません。

○芦崎委員

このような小学校にしたいという大きなテーマを打ち出すことができれば良いのではないかと思います。

○石崎教育長

施設一体型の幼稚園と小学校になりますので、その強みを最大限に生かした学校にしていくと共に、市街地に置くことで地域にも関わっていただき、地域全体での教育環境

の充実を図りたいと思います。そこを文章化して分かりやすくする作業が必要になってくると思います。

○芦崎委員

羅臼高校への入学が17名ということですが、中学校3年生は何名ですか。

○石崎教育長

中学3年生は31名です。

○芦崎委員

羅臼高校へ入学する17名以外は全員町外の高校に進学ですか。

○石崎教育長

就職を希望している生徒はおりません。

令和7年度から制服が変わります。

○芦崎委員

中学校から高校まで同じ制服のため、どのタイミングで買い替えるのかという話が聞こえてきます。値段のこともあり悩む保護者がいるようです。

○石崎教育長

値段は割高になりましたか。

○横澤主幹

それほど変わらないと聞いています。

○芦崎委員

ズボン2着かもしれませんが上下4万円以上と聞きました。中学校1年生で買ったものが、高校3年生まで着られるわけではありませんし、経済的な負担を考えた時にリユースの仕組みも必要になるのではないのでしょうか。

○横澤主幹

現在は個人同士でやり取りをしているということですか。

○芦崎委員

個人同士でやり取りできる方はいいですが、移住者や転勤者は困ると思います。

○石崎教育長

制服のリユースの必要性を感じますか。

○芦崎委員

兄弟や親戚などがいる方は良いと思いますが、その他の方々は難しく必要性があると思います。

○小林委員

保護者同士の繋がりの中で、事前に声を掛け譲っていただく方法しかありません。制服を探している保護者は多いと思います。

○芦崎委員

行政等どこかで取りまとめをすることにより、誰が着ていた制服か分からないようにするのも良いと思います。買取りでも借用で構いませんので取り組んでいった方が親切だと思います。

○小林委員

これまでも中学校と高校の制服をそれぞれ購入する必要がありましたので、リユースの仕組みがあれば助かると思います。

○石崎教育長

その仕組みを作った場合には多く在庫を抱えることになると思います。

○学務課長

保護者同士でのやり取りも残っていくと思いますので、どれだけ需要があるかです。処分されるよりは活用できた方が良いでしょう。

○石崎教育長

以前スキー授業を取り入れていた頃には、スキーの値段が高く保護者同士でやり取りをしていました。経済的な部分もありますので学校が動いていた記憶があります。

○横澤主幹

P T Aが動きスケート交換会を行っていた学校もありました。

○石崎教育長

交換会の日に持ち寄るということは良い方法だと思います。

○小林委員

幼稚園の制服の値段が上がっています。

○横澤主幹

園長副園長会議でも話題になりました。

○小林委員

デザインが変更されたわけではなく、以前と同じ制服です。

○石崎教育長

幼稚園のスモックは卒園する保護者がクリーニングをした上で幼稚園に残し、希望があれば次の保護者に渡しているものだと思っていました。

○小林委員

転勤等で途中から入園する園児には、おさがりがあった方が良いでしょう。

○石崎教育長

長い歴史の中で幼稚園でも学校でも、使わなくなった制服等を新たに入園入学する子ども達に渡していくシステムが構築されていても良いのではないかと考えています。特に幼稚園のスモックは卒園時に置いていっているものだと思っていました。

○芦崎委員

親戚がいない、地区同士の繋がりが薄い場合は、個人でのやり取りは難しいと思います。

○石崎教育長

P T A活動としての取り組みも良いと思います。困っている人がいるので、どなたかが声を発し、後輩のために有効活用しませんかということがP T Aから出てくることになればスムーズに進むと思います。

統合に伴う通園通学方法について説明をお願いします。

○学務課長

通園通学バスについて、ワゴン車とマイクロバスを増便し運行するという中で、先般阿寒バスと羅臼ハイヤーに受託の有無を確認させていただいたところ、両社共に人員不足のため対応が難しく受託は出来ないという回答をいただきました。トラック協会にも確認しましたが、運転手不足の他、事務の負担もあり難しいという返答をいただいております。

ります。これを踏まえ内部協議をしているところですが、教育委員会で運転手を雇い運行してはどうかと検討しています。町内業者での受託は難しい状況となっています。

○芦崎委員

美幌町で地域おこし協力隊がスクールバスの運転をしていると聞きました。

○石崎教育長

地域おこし協力隊も一つの方法です。

○芦崎委員

その地域おこし協力隊の方は、美幌町に採用されてから必要な免許を公費で取得したそうです。他の自治体では他の地域から人材を確保しています。

○石崎教育長

運転手の確保に苦慮しています。漁業でも人材の確保は難しくなっていますか。漁業を引退し他の職業に就こうとしている方はいらっしゃいますか。

○葛西委員

定置漁業に関しては、今は動きがありません。

○芦崎委員

物価高の影響や収入の関係から漁業に戻る方もいます。

○石崎教育長

バスの運転手の確保は必ずやらなければならないことです。町で運転手を採用する場合は令和8年4月1日からということではなく、令和7年4月1日から採用し1年間試行をした上での運行を計画しています。行政ですので、どなたかに令和8年4月1日に必ず採用するという約束は出来ませんので、前年度からの採用と試行となります。

○佐々木委員

現在運行している「やさしい号」はどなたが運転していますか。

○学務課長

会計年度任用職員が運転しています。

○石崎教育長

まだ運転手の募集を始めていませんので、募集の周知を行えば複数名の応募があるかもしれません。

○芦崎委員

給料のこともありますが、働く時間帯にもよると思います。

○学務課長

朝の登校時間と、午後の下校時間の運行になりますので、間の時間が大きくなります。一人では長時間になりますので、二人にするのか、間の時間に他の業務が出来るのか、休憩時間にするのかという勤務体系の検討も必要になってきます。

○芦崎委員

会計年度職員は、職員と同じように一日勤務ということですか。

○学務課長

他の業務の会計年度任用職員の中には、半日勤務の方もいますので、登校時の運転手と下校時の運転手を分けることも可能です。

○芦崎委員

時間帯等の調整が可能であれば、応募する方はいると思います。

○学務課長

一日勤務が難しいが、午前だけであれば、午後だけであればという方はいると思います。

○石崎教育長

短時間勤務の場合には、収入が少なくなってしまうので、働きやすい方法を考えなければなりません。

○芦崎委員

先ほど横澤主幹からお話しがりました学校に Pepper くんというのは非常に面白いと思います。

○横澤主幹

使い方は様々です。学校のみではなく「羅来楽」等のイベントに持ち込むことも可能

です。

○芦崎委員

学校の廊下を Pepper くんが移動しているだけでも面白いと思います。カメラ越しに見回りにもなるでしょうし、新たな学校の目玉にもなると思います。

○横澤主幹

A I が備わっていますので、保健室に置くことによりクラスに入れないうの子の話し相手になることもできます。

○芦崎委員

体温等、朝の健康チェックに使うことができたら良いと思います。

○石崎教育長

実際に Pepper くんを見てきましたが、声も聞きやすいです。

○芦崎委員

子ども達は興味を持つでしょうし、視察の時など学校案内にも使えると思います。

○横澤主幹

子ども達は喜んでプログラムをしたいと思います。胸のディスプレイで紙芝居もできますので、小学生がプログラミングをして幼稚園児に見せることができます。いろいろと広がっていくと思います。

○芦崎委員

羅臼の学校に Pepper くんが居るとは誰も思いません。居るだけでも面白いことです。

○横澤主幹

北海道内で Pepper くんを導入しているのは、はこだて未来大学です。

○芦崎委員

子ども達に配られている iPad でプログラミングが可能ということですか。

○横澤主幹

iPad でプログラミングができます。

○芦崎委員

導入費用はPepperくん本体のみということですか。

○横澤主幹

費用はPepperくん本体の年間約50万円です。壊れたとしても保証が付いています。

○石崎教育長

他にご意見、確認事項はありますか。

○全委員

意見、確認事項は特になし。

○石崎教育長

以上で令和7年第1回教育委員会を終了させていただきます。ありがとうございました。